

2006 年 6 月 6 日（火）

問題発見技法 課題 2

【会議の進め方】

1. テーマを決める
2. そのテーマに沿ってブレインストーミング（意見数は 50 以上を目安）
3. KJ 法でまとめる（A 型図解まで）A 型図解を模造紙 1 枚に
4. 発表〔2006 年 6 月 20 日（火）〕

【テーマ決定の注意点】

テーマは、ブレインストーミング、KJ 法でまとめるのに向くテーマとすること。
漠然としすぎているものや、とても大きなテーマは避けること。

（悪いテーマの例：文教大学の改善 ← 広すぎてきっと手に負えない）

【提出物について】

1. グループ：発表にも使用した A 型図解を書いた模造紙 1 枚を発表直後に提出。
2. 個人：以下で説明する評価用紙を事前に印刷して持参し、発表会終了後に提出。
3. グループ：以下で説明するように、上記個人ごとの評価をグループ毎に集計し、メールに添付して提出。〆切は 6 月 23 日(金)18:00 必着。

【発表、及び評価の仕方について】

発表順はグループ順とする。各グループの発表時間は 5 分間（即ち 4 分 30 秒～5 分の間。この間以内にできなかったグループは減点する）。

聴衆は、自分以外のグループの発表を聴いて評価をする。評価は満点を 100 とする**点数で付ける**こと。点数の意味は通常の成績評価基準に準ずる

点数	評価値	参考
100 点～90 点	AA	素晴らしい。非の打ち所がない
89 点～80 点	A	良くできている。
79 点～70 点	B	まあまあ良い。
69 点～60 点	C	合格点ぎりぎり。
59 点以下	D	論外

また、KJ 法のまとめ方について最もよかったと思われる（自分が所属する以外の）3 つのグループを選び、そのうちの一つ 1 位を付けたグループについて、何故そのグループを最上位としたのか、300 文字以上 500 文字以内で評価の根拠を書くこと。なお、個人用の評価用紙は、¥¥akakura¥Public¥jugyo¥joho¥経営情報学科 堀田¥問題発見技法¥2006 問題発見_KJ 法発表評価用紙.pdf を**事前に印刷して持参**し、それに書き込むこと。発表会終了後～授業終了までの間に集める。

また、グループ毎に各個人の評価値を集計した集計表を excel ファイルに転記してメールにて提出。Excel ファイルは¥¥akakura¥Public¥jugyo¥joho¥経営情報学科 堀田¥問題発見技法¥2006 問題発見_KJ 法発表評価集計用.xls を使用。